

ペテロ

第二

②

栄光に向かい 栄光を現しつつ

ペテロの手紙第二 1章14～21節

確証された聖書預言

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. 確証された聖書預言 1:14~21

II. まとめと適用

栄光に向かい、栄光を現しつつ



ペテロの手紙第二とは？

- 著者 …使徒ペテロ
ユダヤ人の使徒(柄2:8)
- 宛先 …小アジア(トルコ)の
離散(ディアスポラ)の
メシアニック・ジュー
- 執筆時期・場所
…バビロン(15:13)
古来の離散の地
- おもな目的 …信者を奮い立たせる



ペテロは、本当にローマで殉教したのか？

- 使徒の働きでは、16章以降ペテロは登場せず。
- 聖書に書かれたペテロの訪問地 …アンテオケ(ガラテヤ2:1)、小アジア(現トルコ)北部(1ペ1:1)、バビロン(1ペ5:13)
- ペテロ殉教の記述 …「ペテロ行伝(180年頃の作)」
歴史書ではない。小説的な娯楽作品。
- 聖書に記載なし。根拠もない。ローマで殉教する必然性もない。
➔カトリックでは重要かも(ペテロの権威を教皇が継承と)

聖書に記されたペテロ

- ガリラヤ湖の漁師(網元)。既婚。
兄弟はアンデレ。
- 洗礼者ヨハネの弟子から、
→メシアの弟子 →フルタイムの弟子
- 12使徒。**山上でイエスの変貌を目撃。**
教会指導者として任命。
- 聖霊降臨後、福音宣教の先端を拓く。
その後は、おもにユダヤ人伝道を担う。



何度も確認される 信仰の成長の段階

① 義認

…主を知った

聖霊の証印・内住

② 聖化

…主を知っていく

聖霊が導く、信仰の成長

③ 栄化

…主を完全に知る

信仰の完成

栄化の希望が与えられているがゆえに

■ II ペテロ 1:5~8

だからこそ、あなたがたはあらゆる熱意を傾けて、信仰には徳を、徳には知識を、知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。

これらがあなたがたに備わり、ますます豊かになるなら、私たちの主イエス・キリストを知る点で、あなたがたが役に立たない者とか実を結ばない者になることはありません。

成長し、宣教の実を結ぶことを強く促されている



I. 確証された聖書預言

ペテロの手紙第二 1:14~21

ヘルモン山

奨励 ペテロの遺言 II ペテロ1:14~15

私たちの主イエス・キリストが示してくださったように、私はこの幕屋*を間もなく脱ぎ捨てることを知っています。

ですから、ぜひとも、私が去った後いつでも、あなたがたがこれらのことを思い起こせるようにしておきたいのです。

*地上の体

■ 晩年のペテロは、死を間近に覚えつつ、遺言としてこの手紙を書き残した。



幕屋

奨励 目撃証言 II ペテロ1:16

私たちはあなたがたに、私たちの主イエス・キリストの力と来臨*を知らせましたが、それは、巧みな作り話によったものではありません。私たちは、キリストの威光の目撃者として伝えたのです。

*ヘルモン山でのメシアの変貌(マタ17章)

「まことに、あなたがたに言います。ここに立っている人たちの中には、人の子が御国とともに来るのを見るまで、決して死を味わわない人たちがいます。マタ 16:28」

メシアの生涯
ただ一度の
栄光の顕現



■マタイ17:3~4

それから六日目*に、イエスはペテロとヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。

すると、弟子たちの目の前でその御姿が変わった。
顔は太陽のように輝き、衣は光のように白くなった。

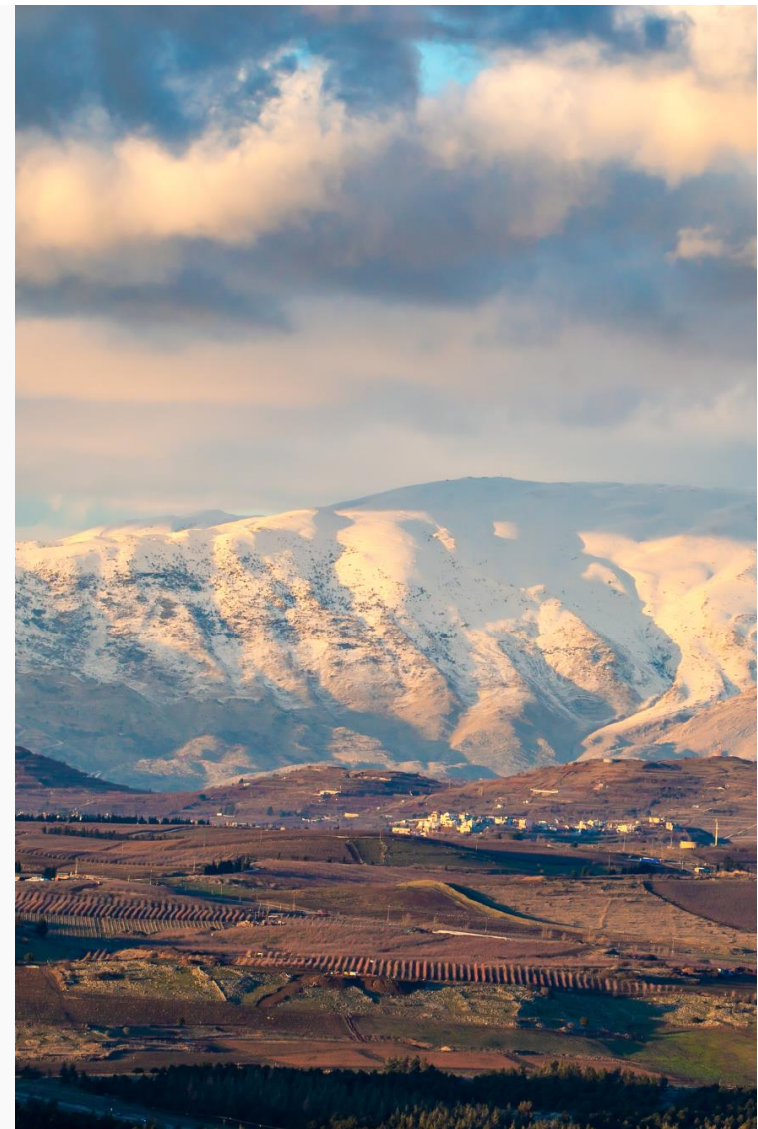
*ペテロの歴史的信仰告白から六日後。

奨励 主の御声 II ペテロ1:17~18

この方が父なる神から誉れと栄光を受けられたとき、厳かな栄光の中から、このような御声がありました。「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ*。」

私たちは聖なる山で主とともにいたので、天からかかったこの御声を自分で聞きました。

*バットコル …神の短い直接の語りかけ



イエスこそ、神の子、メシアだと主ご自身が証明された!!

■マタイ17:5~7

彼がまだ話している間に、見よ、**光り輝く雲**が彼らをおおった。すると見よ、雲の中から「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。彼の言うことを聞け」という声がした。

弟子たちはこれを聞いて、ひれ伏した。そして非常に恐れた。

するとイエスが近づいて彼らに触れ、「起きなさい。恐れることはない」と言われた。』

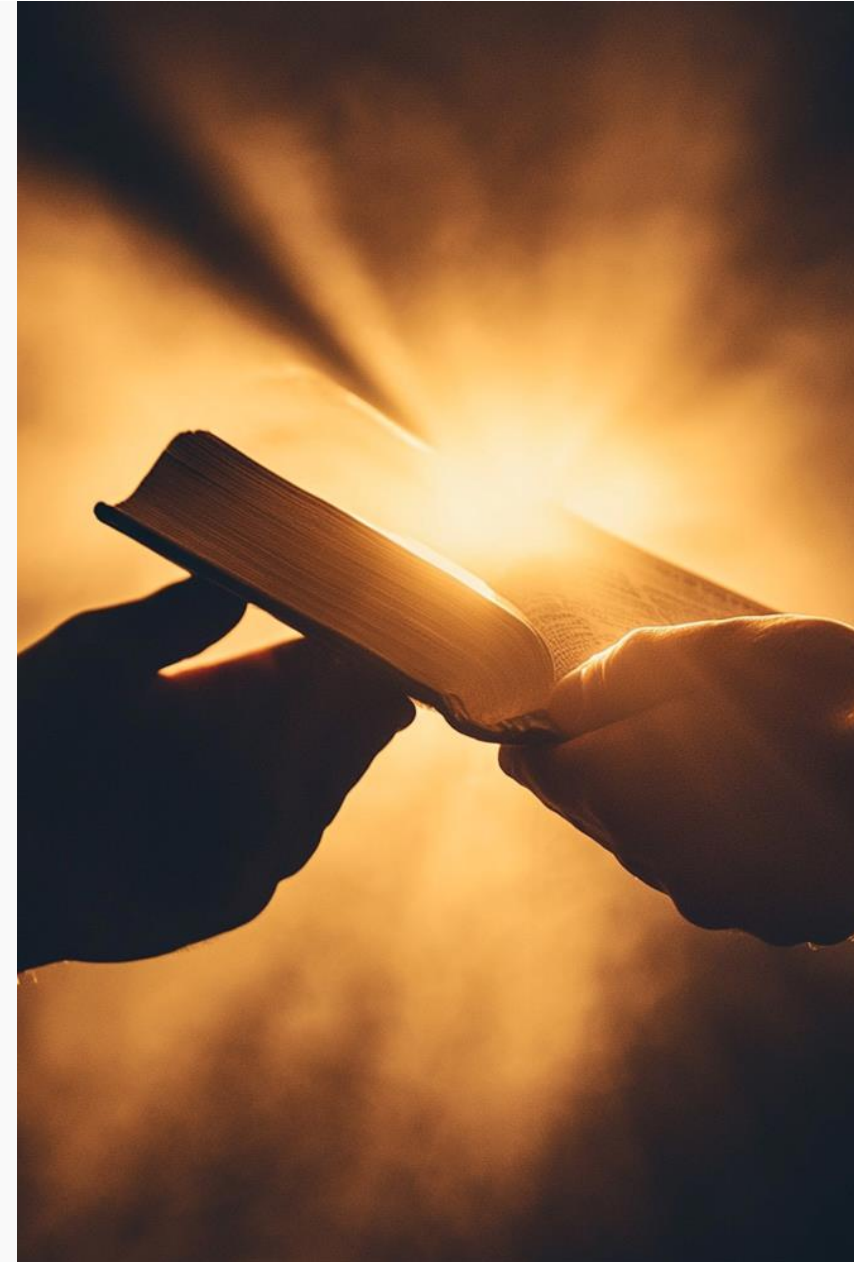
奨励 確かなみことば II ペテロ1:19

また私たちは、さらに確かな預言のみことば*を持っています。夜が明けて、明けの明星があなたがたの心に昇る*までは、暗い所を照らすともしびとして、それに目を留めているとよいのです。

*使徒や預言者を通して語られ、記され、
新約聖書にまとめられた → 聖霊が保証

*栄光の主イエスの再臨の時

■ 聖書は、今の暗い世を照らすともしび。
私たちが常に目をとめておくべきもの。



明けの明星として来られる栄光の主イエス

■ 黙示録22:16~17

「わたしイエスは御使いを遣わし、諸教会について、これらのことをあなたがたに証しした。わたしはダビデの根、また子孫、**輝く明けの明星**である。」

御霊と花嫁が言う。「来てください。」これを聞く者も「来てください」と言いなさい。渇く者は来なさい。いのちの水が欲しい者は、ただで受けなさい。

奨励 聖書預言の確かさ II ペテロ1:20~21

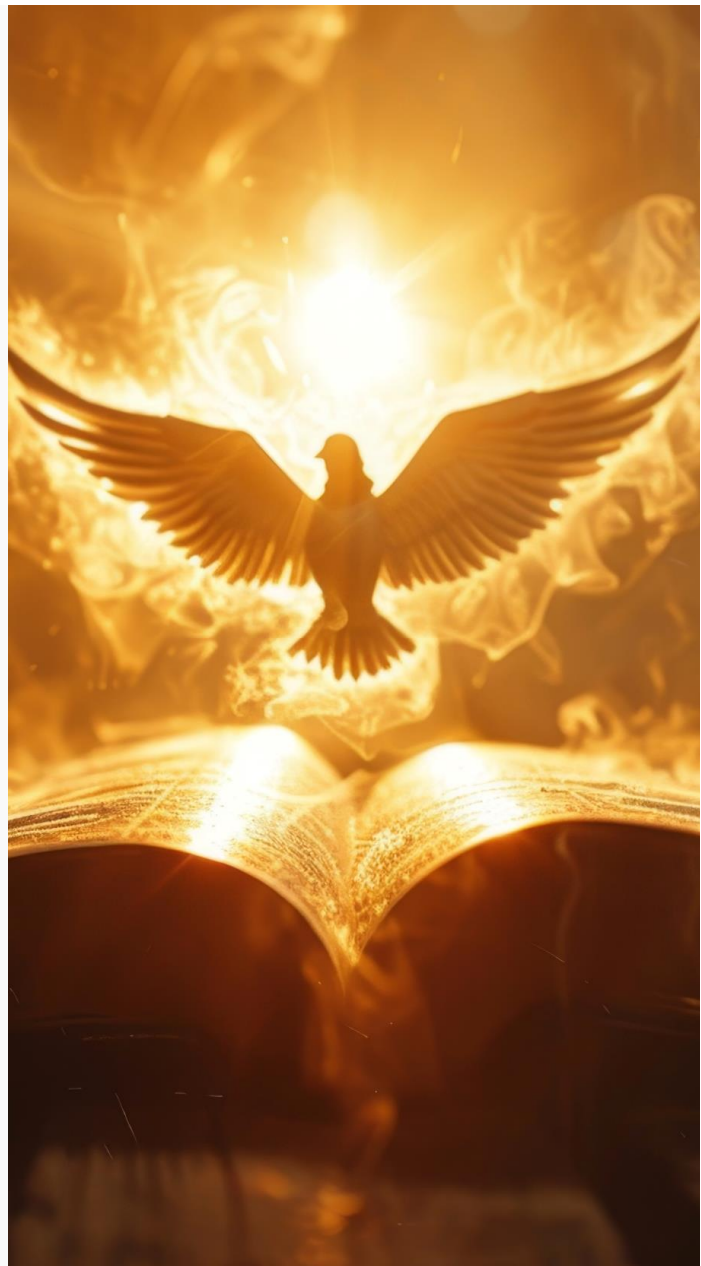
ただし、聖書のどんな預言*も勝手に解釈するものではないことを、まず心得ておきなさい。

預言は、決して人間の意志によってもたらされたものではなく、**聖霊**に動かされた人たちが神から受けて語ったものです。

*預言者を通して語られた神の言葉

■使徒が伝えた、主イエスの教えの確かさは、旧約聖書の解き明かしと預言、それに伴うしるし(奇跡、出来事の成就)が証明した。

➔これらの背後に働かれたのが**聖霊**





Ⅱ. まとめと適用

栄光に向かって、栄光を証しつつ

ヘルモン山

何度も確認される 信仰の成長の段階

| | | |
|------------|--------------------------|---|
| ①義認 | …主を知った 聖霊が内住 | 神としての御力、いのちと敬虔をもたらすすべてのものを与えられた。 (3節) |
| ②聖化 | …主を知っていく 聖霊が導く | あらゆる熱意を傾けて、信仰には徳を、徳には知識を、知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。(5～7節) |
| ③栄化 | …主を完全に知る 信仰の完成 | 欲望がもたらすこの世の腐敗を免れ、神のご性質にあずかる者となる(4節) |

聖化の途上で目をとめるべき預言の御言葉

■ II ペテロ1:19

また私たちは、**さらに確かな預言のみことば**を持っています。
夜が明けて、**明けの明星**があなたがたの心に昇るまでは、暗い所
を照らすともしびとして、**それ**に目を留めているとよいのです。

■ ペテロは、生きながら栄光の主を目撃する恵みにあずかった。
今、私たちは、「**さらに確かな預言のみことば**」
すなわち、完成した「**聖書**」を手元に与えられてる。

栄光の主イエスの再臨まで、**聖書**が私たちを導く光

聖書から外れさせる、あらゆる働きに惑わされるな

■「聖書だけでは不十分、〇〇が必要だ」

〇〇…伝承(カトリック)、モルモン経、組織(エホバ)、
現代の自称預言者、使徒、様々な偽教師、etc

■「聖書は時代に合っていない」と妥協を求める誘惑も

…偶像礼拝、性のありよう、人間中心の様々な価値観

確定した預言・聖書を曲げてはならない

■ 黙示録22:18～21

私は、この書の預言のことばを聞くすべての者に証しする。もし、だれかがこれにつけ加えるなら、神がその者に、この書に書かれている災害を加えられる。

また、もし、だれかがこの預言の書のことばから何かを取り除くなら、神は、この書に書かれているいのちの木と聖なる都から、その者の受ける分を取り除かれる。

これらのことを証しする方が言われる。「しかり、わたしはすぐに来る。」アーメン。主イエスよ、来てください。

主イエスの恵みが、すべての者とともにありますように。

★ 暗闇に置かれた小さな灯火として ★

- 混迷の時代、なすべき第一の使命を、いつも胸に刻んでいよう。
“福音を告げ、主イエスの弟子として世に証ししていくこと”
- わたしなんて、という考え自体が筋違い。抱えていた欠けと罪の大きな人ほど、その変化と成長が証しになる
- 暗闇の中では、どんなに小さな灯火も、否応なく人目をひく。用いられるのは父なる神、私の内で輝くのは主イエスの栄光。日々私を導き、変えてくださるのは御霊の助けだ。

「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

②墓に葬られ、

③三日目に復活したこと、を信じます。

私は、主が約束された栄光のゴールに向かって歩みます。

私の内に住まわれる聖霊が、私を助け、導いてくださいます。

福音を告げ知らせ、主イエスの証人として歩みます。

滅び行く命を救い、主の栄光を、今、この時にも地上に現してください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」